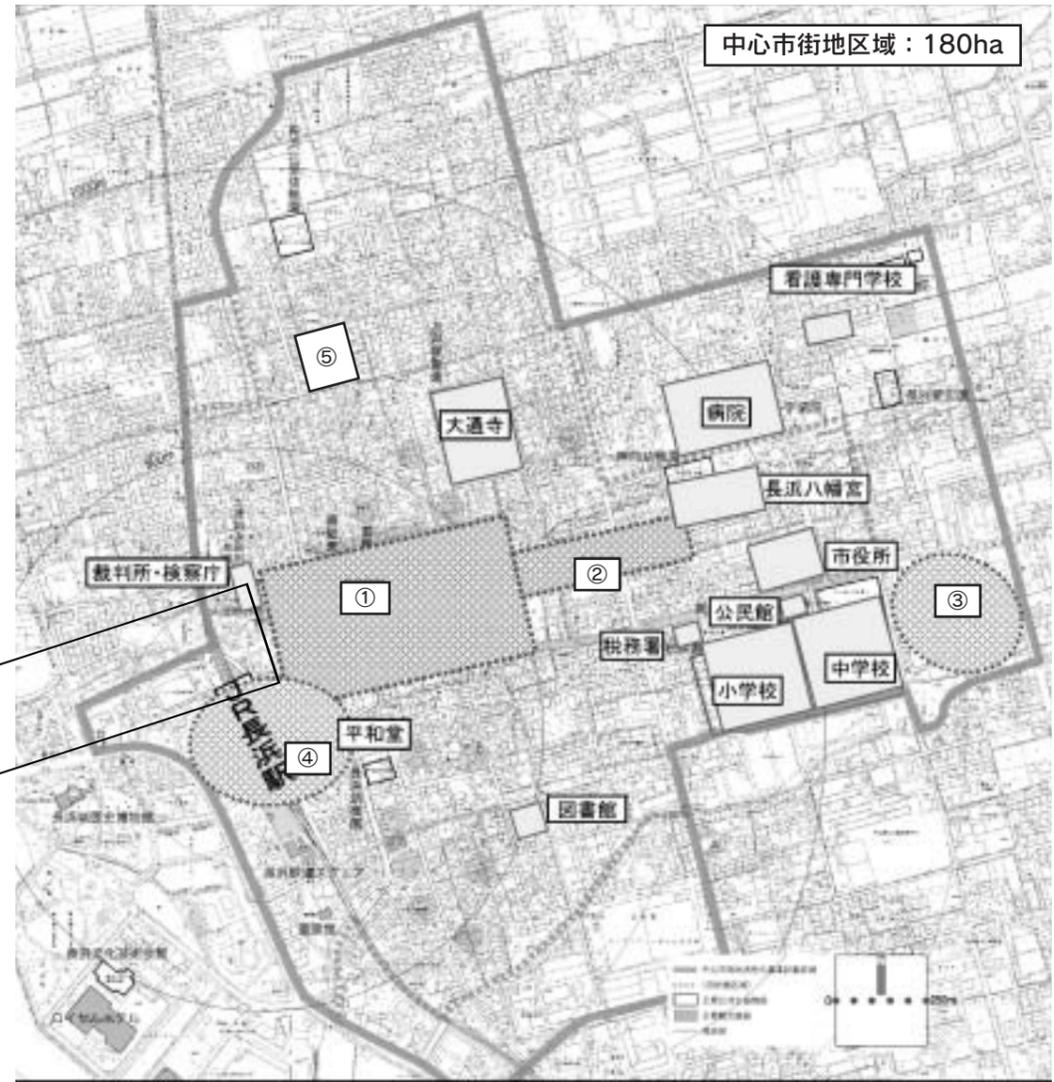


**中心市街地を活性化するための主要な事業**

- ① 黒壁スクエア及び中心商店街魅力強化事業
- ② やわた夢生小路商店街活性化事業
- ③ 公共公益ゾーン整備事業
- ④ 駅前地区整備検討事業
- ⑤ まちなか居住事業

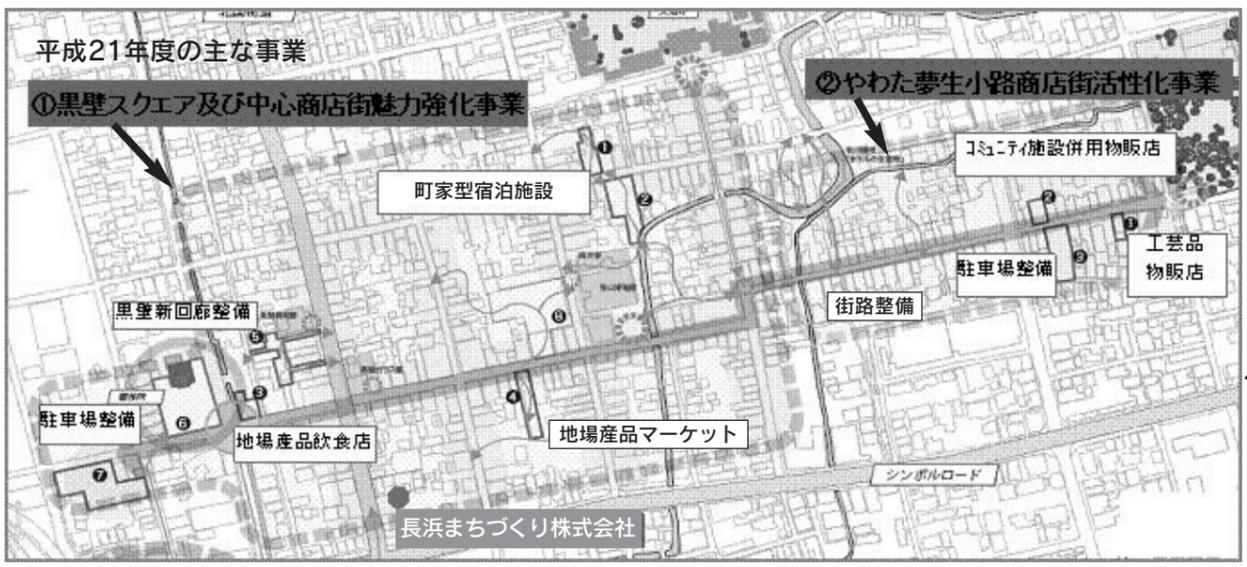


前田 雅美さん  
(株黒壁販売企画課長)

**ガラスによる街づくり**

長浜は、「ガラスのまち」として広く知られていますが、市民のみなさんに「ガラス」が「長浜の文化」として浸透していません。この計画がめざすにぎわいあふれるまちになるためには、地域に根づいた新しい「文化」が必要だと考えています。

そこで、たくさんの方の市民のみなさんとガラスによる街づくり運動の一環として「長浜アーバンガラスコンペティション」に取り組んでいます。このコンペは、「ガラス」をまちの生活や景観・歴史と融合させ、まち全体の文化として確立させようというものです。このコンペにより生み出されるアイデアを取り入れて、市民のみなさんといっしょににぎわいあふれる長浜のまちにしていきたいと思っています。



**地域のみなさんにインタビュー**  
—暮らしやすい、にぎわいあふれるまちをめざして—

谷口清土さん

長浜八幡宮へ通じるやわた夢生小路商店街は、かつて道路の両側にびっしり商店が並んでいましたが、商店数は半数以下になり空き地や空き店舗が目立っています。今回の活性化事業には、曳山まつりの巡航路にふさわしい道路整備などがあり、往時の商店街のにぎわいをとりもどすきっかけになると私たち商店街振興組合は期待しています。

私は住んでいる人が住みやすいまちをつくるのが一番だと感じています。もつと商店街が元気になるようにこれからも頑張りたいと思います。

清水政伸さん

今回の中活計画は、私たち商店街のまちづくりコンセプト「石畳が誘う曳山の街」を実現させるチャンスだと感じています。

平成14年にオープンした「川崎や」のように、空き店舗等を活用したまちなみづくりを広げていけると感じているからです。

将来は、商店街各戸の個性を認めつつも、長浜八幡宮の表参道にふさわしいまちなみとなるよう建築協定に取り組んでいきたいですね。

まだまだこれからですが、活性化事業を活用しながら一つ一つ出来ることから進めていきたいと思っています。



谷口清土さん (やわた夢生小路商店街振興組合 理事長: 左) と 清水政伸さん (やわた夢生小路商店街振興組合まちづくり実行委員長)

**20年後もにぎやかな「まちなか」であるために**



高橋 政之さん  
(長浜商工会議所会頭)

「まちなか」を活性化していくためには、多くの人に来てもらうことも大切ですが、そこに住む人が増えることも大切な気がします。今回の計画は、そういったことを踏まえたものになっており、多くの人が「まちなか」でいつまでも安心して暮らせるための事業も含まれていることから、大きな期待を持っているところなんです。

また、今年度の事業内容は決定していますが、来年度からの4年間は毎年事業提案が可能となることから、より多くのみなさんからの提案や意見をいただきながら、計画が実行され、「まちなか」がもつとにぎやかになる

さらには、「まちなか」を効果的に活性化するための調整や相談などを行う場所として、「まちづくり会社」を設立し、「まちなか」の空き地や空き家、空き店舗の情報提供を行いながら、それらをまちづくりにうまく活かすためのマネジメントを行っていくと考えています。

まちづくり会社は、行政と民間が協力して設立する会社で、いつも「まちなか」の空気を感じ続けるため、事務所を北国街道沿いに構えます。本格的な始動はこれからですが、20年後の長浜のまちを考えながら、みなさんとともに「まちなか」の活性化に取り組んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いたします。

問 長浜まちづくり株式会社 (元 浜町7番5号、☎3935)

問 商工振興課 ☎8766